

黒田家代官屋敷梅まつり・市内の河津桜 足早い春の訪れ



2月6日から3月6日まで、国指定重要文化財「黒田家住宅」で、毎年恒例の梅まつりが開催されました。普段入れない庭園が開放され、寒紅梅や白加賀など13種類およそ160本の梅の花が咲き誇り、多くの人が楽しみました。郷土の伝統工芸品「焼きびな」の展示も同時開催されたほか、初日には平川地区コミュニティ協議会による御城印や農産物の販売なども行われました。

また、春の訪れを告げる河津桜が、市内各地で咲き始めました。

◀123見上げたり写真を撮ったりして梅を楽しむ来場者 4内裏雛や招き猫など50点が展示 5栗原川の河津桜 6長福寺裏山の河津桜

株式会社故紙センタートヨタと災害協定締結 災害時の備えをさらに強化

2月4日、株式会社故紙センタートヨタと「災害時に発生する廃棄物の収集運搬等への協力に関する協定」を締結しました。同社は市内に営業所を持ち、古紙・廃プラスチックのリサイクルや、産業廃棄物・一般廃棄物の処理を行っている事業所です。収集運搬に用いる資機材を保有し、市内の施設や地理に詳しいことから、締結に至りました。指定避難所から発生する一般廃棄物の収集運搬や、災害廃棄物仮置場の運営に関する必要資機材の提供などで連携を図ります。



▲協定書を手にする高野将史代表取締役と長谷川寛彦市長

おせっかいの会から野菜福祉募金の寄附 菜を通じて地域を支える

市民グループ「元気サロンおせっかいの会」が、2月3日に菊川保育園へ、21日に市社会福祉協議会へ、野菜福祉募金による寄附を行いました。同グループは、遊休農地で育てた野菜や、家庭菜園の余剰野菜を販売し、収益を募金する「野菜福祉募金」を実施しています。同園へ節分豆まき用のお菓子の詰め合わせセット園児111人分とマスク500枚が(写真1)、同会へ野菜福祉募金の収益5万円とマスク2,000枚、赤い羽根課題解決プロジェクト募金へ2万円(写真2)が贈られました。

